

委員会の活動状況

予算決算特別委員会

委員長 丸山 幸子

12月6日、9日、12日、13日、16日、20日に開催しました予算決算特別委員会に付託されました案件は、議案8件でした。

◇主な審査内容

◎第53号議案

債務負担行為補正の水泳授業支援業務委託に関する質疑があり、「学校プールについては、築後40年を経過し老朽化が課題となっており、施設改善について検討を重ねた結果、令和5年度に老朽化が著しい小学校2校について試行的に水泳授業を民間プール施設で実施する方針が決まった。令和4年度中に学校と事業者との間で、水泳授業のスケジュール等の詳細を決めておく必要があったため、債務負担行為額の計上とした」との答弁でした。

生活道路維持管理事業について工事内容等に関する質疑があり、「場所は旭ヶ丘町地内の旭ヶ丘運動広場の西側道路であり、のり面の木の伐採を予定している。原因は9月10日の降雨により倒木が1本発生、その後調査を行うと危険な木々が新たに発見され、木の伐採を含めた該当地の処理を予定している」との答弁でした。

◎第71号議案

出産・子育て応援事業について質疑があり、「経済的支援の対象者が、令和4年4月から遡及して適用となることから、今年度中に出産された方を対象に、妊娠時の5万円と出産時の5万円、合わせて10万円を支給することになり、人数を650人分と見込み予算計上

した。また、年度末までに妊娠届が提出され出産予定日が来年度以降になる妊婦を350人と見込み、出産応援金として5万円の給付をさせていただく」との答弁でした。

◇審査結果

第54号、第55号、第56号、第57号、第58号、第59号、第71号議案は全員賛成、第53号議案は賛成多数で可決しました。

福祉文教委員会

委員長 櫻井直樹

12月9日に開催しました福祉文教委員会に付託されました案件は、陳情3件でした。

◇主な審査内容

◎陳情第18号

国民健康保険の加入者は、ここ10年間で減少し続け、それに伴って、保険料収入も減少している。一方、医療の高度化や加入者の高齢化により、一人当たりの医療費が増加している。今後も安定した運営を続けていくために、3年間で少しずつ上げて、保険税の見直しが必要ということ。国民健康保険は、受益者負担の原則があり、みんなで支えていかなければならないもの。よって、この陳情に反対する。という意見が出されました。

◇審査結果

陳情第15号の2、第16号、第18号は、賛成少数で不採択としました。

◇所管事務調査

「校内フリースクール」について所管事務調査を行いました。

都市環境委員会

委員長 日比野和雄

12月12日に開催しました都市環境委員会に付託されました案件は、議案4件、陳情1件でした。

◇主な審査内容

◎第67号議案

合葬式墓地の今後の年間申込数の見通しに関する質疑があり、「市内在住者、市外在住者各々について各100体程度を見込んでいる」との答弁でした。

◎第68号議案

新設の10㎡の農園の使用料が割高ではないかとの質疑があり、「30㎡の単位面積当たりの価格を基準にし、端数は100円単位になるよう切り上げた」、また、西大道ふれあい農園跡地利用についての質疑があり、「跡地利用は、今後庁内で慎重に検討したい」との答弁でした。

◇審査結果

第67号、第68号、第70号議案は全員賛成、第69号議案は賛成多数で可決しました。また、陳情第17号は賛成少数で不採択としました。

総務委員会

委員長 谷口武司

12月13日に開催しました総務委員会に付託されました案件は、議案6件、陳情1件でした。

◇主な審査内容

◎第62号議案

部設置条例及び水道事業の設置等に関する条例の一部改正については、主に次の5点について質疑がありました。

組織変更の意図について質疑があり、「人口減少や超高齢社会、ポストコロナ時代への対応など、一段と高度化・複雑化の度合いを増している行政需要に、より一

層、迅速・的確かつ柔軟に対応できる体制の整備を意図している」との答弁でした。

組織変更に伴う部や課の状況についての質疑があり、「現在の10部43課から、11部46課となる」との答弁でした。

組織変更が、効率的な行政運営につながるのか？についての質疑があり、「決算審査の意見を踏まえ、公営企業会計の経営効率化を図るため、『上下水道部』を設置することとしている」との答弁でした。

組織変更に伴う人件費への影響についての質疑があり、「管理監督職の増員に伴い、人件費の増加も予想されるが、試算の結果、ラスパイレス指数への影響はほとんどない」との答弁でした。

水道事業管理者の設置についての質疑があり、「本市の水道事業の規模は、法令の基準に満たないため、上下水道部を設置した後も、水道事業管理者は変更しない」との答弁でした。

◇審査結果

第60号、第61号、第62号、第63号、第65号、第66号議案は全員賛成により可決しました。陳情15号の1 介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書（税関連）については賛成なく不採択としました。

議会運営委員会

委員長 松原 たかし

12月19日に開催しました議会運営委員会に付託されました案件は、議案1件、請願1件でした。

◇主な審査内容

◎請願第1号

「関わったことが良い悪いではなく、事実関係を明らかにすることが大切」といった賛成意見や、「どのように対外的に公表するかは、第一次的には、議員個人等の責任において、自主的・自立的に判断するべきものであって、請願によって求める事項にはなじまない」といった反対意見が出されました。

◇審査結果

第64号議案は全員賛成で可決しました。また、請願第1号は賛成少数で不採択としました。

委員会の行政調査報告

福祉文教委員会

委員長 櫻井直樹

10月31日に岡崎市立美川中学校を訪問し、不登校の子どもたちの対応策として実施されている、校内フリースクール「F組」について行政調査を行いました。

「すべての子どもに光を充てる」という理念から、何らかの事情で学校や教室に来られなくなった児童生徒に対して、誰一人取り残すことなく個別最適化された学びの場を保障し、社会的自立に向かって歩き出すことができるようにしたいという願いから、校内フリースクールが設置された。

「F組」の教室に入り、実際に5時間目の授業の様子を見せて

いただいた。6人の生徒が教室内にいる。タブレットを使って、授業に参加している生徒。支援員と共に、英語の絵本を読解している生徒。パソコンで、作曲している生徒。担任教師とオセロを楽しむ生徒。

驚きの授業風景である。6人の生徒が、一斉授業を受けているわけではなく、まったく自由である。それは、1日の活動内容や時間割を生徒一人一人が、自分で決めているからである。教室の背面黒板には、生徒一人一人の日課が記入されていた。生徒が一人少ないことを尋ねると、在籍学級で授業を受けているということであった。

生徒たちの表情は、とても明るく、楽しそうで、見知らぬ人達が

授業中に教室にいても、何も臆することなく、平常心である。気軽に私たちに話し掛けてくる生徒もいる。とても、心に何かを抱えている不登校生徒とは思えない表情である。なぜ、このような表情ができるのだろうか。このような子どもらしい生徒たちの表情が、校内フリースクール「F組」の成果を現している。



F組の授業風景